

健康 ぷらざ

エイズは恐くなくなった？

— 検査の有無が分岐点 —

指導：国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター長 岡 慎一

企画：
日本医師会

No. 449

エイズは、恐くなくなった？

エイズは後天性免疫不全症候群こうてんせいめんえきふぜんしょうこうぐんという、人から人へうつる感染症です。

ヒト免疫不全ウイルス(HIV)が原因で、主な感染経路は性的感染、血液感染、母子感染です。空気感染や飛沫感染では感染しません。

HIVに感染すると体内で免疫にかかわる細胞が減少し、さまざまな病気を発症します。これがエイズで、23もの病気があります。

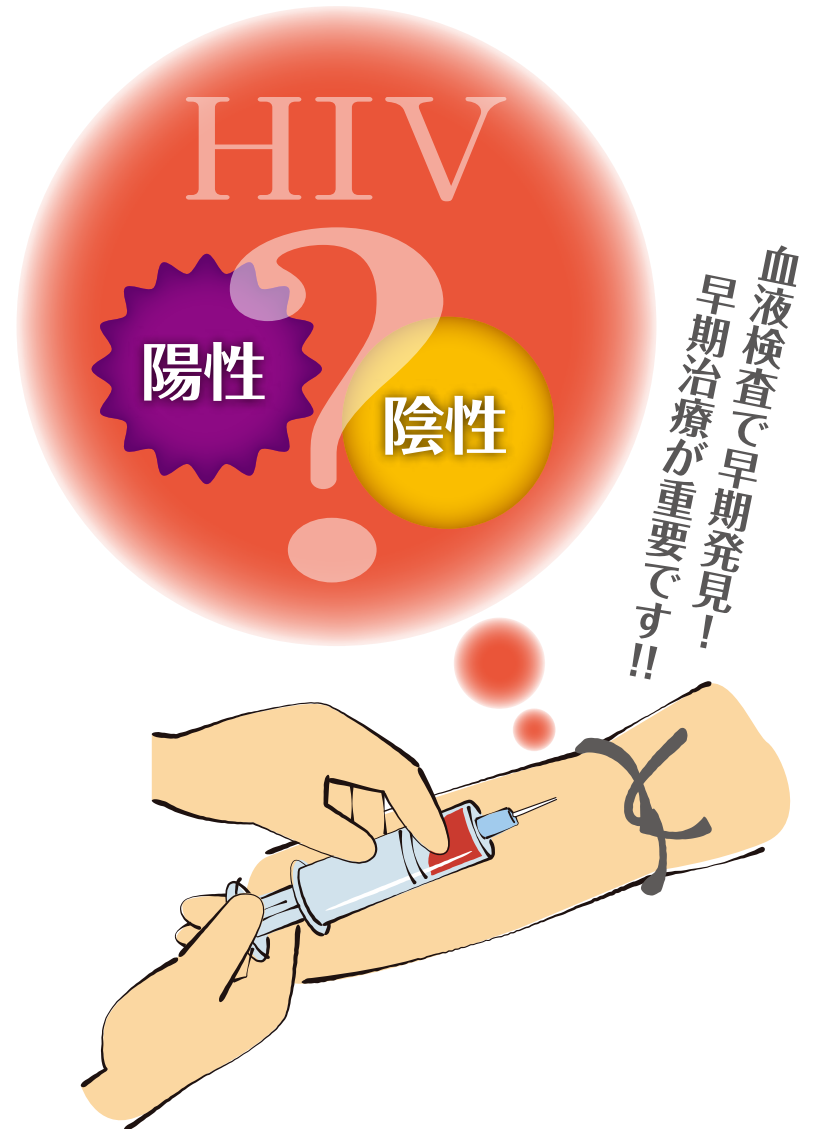
エイズになるととても治りにくく、エイズになる前、HIV感染時に早くから治療することやHIVに感染しないことが重要です。

予防としての治療

エイズは以前、不治の病といわれていましたが、治療の進歩によりHIV感染早期にきちんと治療を受ければ、エイズを発病することもなく、今まで通りの生活を続けることが可能になりました。誤解しないでほしいのは、これは治療を受けたからであって、エイズという病気そのものが治ったわけではありません。

したがって、治療を受けなければ、HIV感染者は、必ずエイズを発病します。運良く死亡を免れたとしても、重い後遺症で若くして寝たきりになることも少なくありません。エイズは、本当に怖い病気なのです。

治療には、本人が発病しないことのほかに、治療でHIVのウイルス量を減らすことで、大切なパートナーへの感染を防げることもわかってきました。治療が予防にもなるのです。



どうやって感染を調べるの？

HIVに感染しているかどうかの確認は、血液検査をするしかありません。

保健所に行くと、匿名で無料の検査を受けることができますし、医療機関でも数千円でHIV検査を受けることができます。数千円で自分の一生が左右されることを考えると、決して高い値段ではありません。以前、性感染症にかかったことのある人などは、保険診療で受けられることもあります。

命に関わる病気ですので、心あたりのある人はぜひ検査を受けてください。